



教室長 菅野 信人

東北大学文学部卒。大学卒業後、学習塾社員としてキャリアスタート。
全国塾・地元塾・学習教材販売と、教育業界で30年。多賀城駅前指導に関わること8年。
塾生の保護者様との面談や電話での相談に親身に対応することに一番の喜びを感じている。
2015年度：仙台一高・仙台三高・宮城一高・仙台二華中[高]の合格者を輩出。
2016年度：仙台二高・仙台三高・宮城一高・仙台二華高の合格者を輩出。
2018年度：多賀城駅前教室の教室長に復帰。

多賀城地区の生徒・保護者のニーズに応じて8年。最適な指導とは。

学習方法はひとり、ひとり

一教室長として大事にしていることはなんですか。

大事にしていることは入塾前に行う保護者面談です。その中で一番多い悩みが、「子どもに最適な学習方法がわからない」ということです。そのお子様の成績データから必要と考えられる提案を、事前に考えて面談には臨みます。

一事前準備をするんですね。

はい。それでも面談の場で、さらに新しいことがわかり、その場で経験に基づき提案を更新していきます。事前の準備が無駄になることもざらにあります(笑)

一なるほど。誰にでも通用する提案があるわけでもないんですね。

その通りです。例えば、当教室の集団指導受講者の中から、多くの人気進学校合格者を輩出してはいますが、「この高校ならこれ」といった指導はないと考えます。お子様によって苦手・得意が異なれば提案は確実に違います。そこを、「その高校なら個別指導で完璧ですよ」「あの高校なら集団指導で大丈夫ですよ」というのは押しつけの指導にしかすぎないです。

多賀城地区はスタートが肝心

一面談時の具体的なエピソードがあれば教えてください。

先日、小学校高学年の保護者様の問い合わせで「通信教材をやっている、今までできていた教科がわからなくなってきた心配している」という話がありました。お子様まかせでない保護者様の気持ちが感じられます。

一方、高校受験に向けてのスタートはやや遅いという傾向を感じます。高倍率の人気進学校が厳しいときは、ボーダー偏差値の一段下がる高校を目指す保護者様・お子様が多いです。

一もっと早くに来ていれば……ということでしょうか。

そうなんです。本当にもったいないと思うことが多々あります。また、単に高校選びの話だけではなく、高校入学後にも苦労するお子様が多いと面談の場で聞きます。

一いつから塾通いを始めるのが最適だと考えていますか。

中学入学後の内申点や中3の夏以降での成績の伸びを確保し、高校入学後にも苦労しないためには、特に、**小学校高学年からの学習習慣の定着**が欠かせません。

部活動が忙しくてもできる学習習慣

一他にどんなご相談がありますか。

先日、「テストが終了したら、まったく勉強しなくて、息抜きが長すぎて困っている」という問い合わせを一般の方からいただきました。こういうお悩みこそ、塾とご家庭が協力した習慣作りが大事だと考えています。高校1年生や中学1年生でも、きちんと週2回は通塾ができています。ただ、通い方のスタイルは人それぞれです。

例えば、**集団指導**は学年によって曜日が決まっていますが、部活動の後でも通いやすいように、授業開始時刻を19時20分にしています。先生1人に生徒2人の**1:2個別指導**では、曜日と時間は相談して決めていきます。タブレット端末内のプロ講師と教室内の先生のW指導形式の**自立型個別学習**は、大人気の「受講し放題」です。

これら3種類から学習形態を選べるだけでなく、それぞれを組み合わせることができるのが多賀城駅前教室の強みです。その結果、自然と学習習慣がついていきます。

学習形態は「一度決めたら終わり」ではない

一入塾するときに決めた学習形態を変えることはできますか。

もちろんです。例えば、受験を間近に控える中学3年生で考えてみます。

「集団でやっていますが、模試のこの教科は苦戦しています。」「対面型個別でやっています。定期試験で初めて平均点を超えましたが、模試では伸び悩んでいます。」

大事なのは、適切なカリキュラムがあるかどうかです。集団指導では、夏休みまでは部活動との両立を目指し、英数国の3教科の勉強に集中します。8月からは理社の暗記と記述対策を行うために、通常授業が5教科指導になります。さらに、8月からは集団・個別ともに土曜日に、テストゼミを実施し、数英理社の入試問題に挑みます。カリキュラム上、まだ学習していないことの成果は期待できませんから、焦る必要はありません。一方、既に学習したはずの部分で伸び悩んでいるのであれば、場合によっては学習形態の見直しが必要です。この8月是一个の転換点であり、その次の転換点は11月です。その都度、保護者を交えた面談をさせていただき、今の指導の見直しで**お子様一人ひとりに最適な指導を追求**しています。